

男女共同参画会議 男性の暮らし方・意識の変革に関する専門調査会
報告書 構成案について

白河桃子
相模女子大客員教授

対象について：

対象になる男性が「6歳未満の子どものいる人」ということだが、これは対象を限らず、社会全体の「男性の暮らし方」の問題として取り組むべき課題ではないか？

独身の人には『ライフはない』と思われるような会社で、いくらイクメンを推奨しても、男性は育休をとることもできない。子育てして初めてライフがあるのではなく、それ以前からすべての人のライフに配慮してほしい。

I

1-（2） 女性に偏る我が国の家事・育児・介護の負担

これが女性の経済的損失、年収の低下、後の老後の貧困、未婚化、晩婚化、少子化などの要因になっていると記述してほしい。

すでに日本女性は世界一睡眠時間が短く、無償+有償労働時間において、世界でも突出している。これ以上の活躍をのぞむなら、男性の働き方、暮らし方を変えて行くしかない。

II

2-（2） 子の出生に伴う休暇・育児等への参画

父親産休の義務化、または強力な推奨も検討してほしい。（例：部下の育休の取得を上司の評価に影響させている会社もある）

その際に「評価には影響しない」と書き込んでほしい。

また産休、育休ともに分割取得を可能にしてほしい。

スウェーデンのように育休を夫婦で分割取得できる制度があるといい。

3-（2） 保育園に手ぶらでいけるようにしてほしい

オムツの名前つけなどの負担の軽減

お弁当が父兄の負担に・・・そろそろお弁当文化の見直しも必要

では？